表 155–4.　薬物とポルフィリン症 *

分類	安全でない	安全である	恐らく安全である
鎮痛薬	デキストロプロポキシフェン，ジクロフェナク，メプロバメート，プロポキシフェン	アスピリン，ブプレノルフィン，カフェイン，コデイン，モルヒネ，プロポフォール	アトロピン，dexibuprofen，フェンタニル，ヒドロモルホン，ケトベミドン，ケトプロフェン，ナプロキセン
麻酔薬（局所）	リドカイン	ブピバカイン	アルチカイン
麻酔薬（前投薬 / 導入 / 維持）	バルビツール酸	アトロピン，モルヒネ，プロポフォール	アルフェンタニル，デスフルレン，ドロペリドール，エンフルレン，フェンタニル，イソフルレン，レミフェンタニル，スコポラミン，スフェンタニル
抗うつ薬		リチウム	フルオキセチン
止痢薬		活性炭，ロペラミド	
制吐薬		クロルプロマジン	グラニセトロン，オンダンセトロン，スコポラミン，トロピセトロン
抗痙攣薬	バルビツール酸，カルバマゼピン，ジオン系薬（パラメタジオン，トリメタジオン），フェルバメート，メフェニトイン，フェニトイン，プリミドン，スクシニミド系薬（エトスクシミド，メトスクシミド），バルプロ酸		クロナゼパム，ジアゼパム（活動性の発作），ガバペンチン，レベチラセタム
血糖降下薬		アカルボース，インスリン，メトホルミン	
抗感染症薬	クロラムフェニコール，クリンダマイシン，エリスロマイシン，インジナビル，ケトコナゾール，メシリナム，ニトロフラントイン，ピバンピシリン，ピブメシリナム，リファンピン，リトナビル，スルホンアミド系薬，トリメトプリム	アシクロビル，アミカシン，アモキシシリン，アモキシシリンとβラクタマーゼ阻害薬との合剤，アンピシリン，クロキサシリン，ジクロキサシリン，フシジン酸，ガンシクロビル，ゲンタマイシン，免疫血清，免疫グロブリン，馬尿酸メテナミン，ネチルミシン，オセルタミビル，ペニシリン G，ペニシリン V，ピペラシリン，テイコプラニン，トブラマイシン，ワクチン類，バラシクロビル，バンコマイシン，ザナミビル	アムホテリシン B，アジスロマイシン，バカンピリシン，セファロスポリン系，シプロフロキサシン，ジダノシン，エタンブトール，エルタペネム，ファムシクロビル，フルシトシン，ホスカルネットおよびシラスタチンの合剤，イミペネム，レボフロキサシン，メロペネム，モキシフロキサシン，ノルフロキサシン，オフロキサシン，ピペラシリンとタゾバクタムとの合剤，ホスホマイシン，リバビリン

表 155–4.　薬物とポルフィリン症 *— 続き

分類	安全でない	安全である	恐らく安全である
抗炎症薬 / 抗リウマチ薬		ヒアルロン酸，ペニシラミン，サリチル酸	アバカビル，dexibuprofen，フマル酸テノフォビルジソプロキシル，イブプロフェン，ケトプロフェン，ラミブジン，ロルノキシカム，ナプロキセン，ピロキシカム，テノキシカム，ザルシタビン
抗片頭痛薬	麦角製剤		
抗消化性潰瘍薬		アルギニン酸，カルシウム含有制酸薬，シメチジン，マグネシウム含有制酸薬，スクラルファート	ファモチジン，ミソプロストール，ニザチジン，ラニチジン
抗骨粗鬆症薬		ビスホスホネート，カルシウム	
抗不安薬，鎮静催眠薬，抗精神病薬	エスクロルビノール，グルテチミド，ヒドロキシジン，メプロバメート	クロルプロマジン，ドロペリドール，フルオキセチン，フルフェナジン，ハロペリドール，レボメプロマジン，プロクロルペラジン，プロピオマジン	アルプラゾラム，クロザピン，ジキシラジン，ロラゼパム，オランザピン，オキサゼパム，ペルフェナジン，トリアゾラム，ゾピクロン
心臓，循環系	ジヒドララジン，メシル酸エルゴロイド，ヒドララジン，リドカイン，メチルドパ，スピロノラクトン	アミロライド，β 遮断薬，コレスチラミン，コレスチポール，ジギタリス配糖体，エナラプリル，エピネフリン，ヘパリン類，リシノプリル，ニコチン酸，有機硝酸塩	ACE 阻害薬，アデノシン，アムリノン，アンジオテンシン Ⅱ 拮抗薬，ベンドロフルメチアジド，ベザフィブラート，ブメタニド，ジゴキシン，ドブタミン，ドパミン，ドペキサミン，ドキサゾシン，エタクリン酸，エチレフリン，フェノフィブラート，フロセミド，ヒドロクロロチアジド，ミルリノン，フェニレフリン，プロスタグランジン類，キニジン，スピロノラクトン
ホルモン	ダナゾール，プロゲステロンおよび合成プロゲスチン類	グルココルチコイドを含む非生殖ホルモン	天然エストロゲン類
緩下剤		ビサコジル，食物繊維，ラクチトール，ラクツロース，ラウリル硫酸，オオバコ種子，サグラダ，センナ配糖体，ドクセート・ナトリウム，ピコスルフェート・ナトリウム，ソルビトール	

表 155–4.　薬物とポルフィリン症 *— 続き

分類	安全でない	安全である	恐らく安全である
筋弛緩薬	カリソプロドール，オルフェナドリン	アトラクリウム，シスアトラクリウム，ミバクリウム，パンクロニウム，ロクロニウム，スキセトニウム，ベクロニウム	バクロフェン
呼吸器系	クレマスチン，ジメンヒドリナート	アリメマジン，ドルナーゼ α，コデイン，コルチコステロイド，ジパルミトイルホスファチジルコリン，エフェドリン，エチルモルヒネ，イプラトロピウム，フェニルプロパノールアミン，ホスホリン脂質サーファクタント，サルブタモール	バンブテロール，クロモグリク酸，クロモリン，declorahidine，デスロラタジン，フェキソフェナジン，フォルモテロール，レボカバスチン，リドカイン(うがい液)，ロラタジン，ミゾラスチン，オキシメタゾリン，フェノテロール，サルメテロール，テルブタリン，チオトロピウム

＊ 一覧中の薬物の分類は，臨床観察，文献中の症例報告，ならびに物質の構造および代謝に由来する理論的考察の組み合わせに基づく。しかし，多数の症例における臨床観察は信頼性が低い。また，疾患の活性化に関する生化学モデルおよび分子生物学的モデルは不完全である。本一覧は手引きとしての意味しかもたず，完全ではなく，全患者に適応可能でもない。ポルフィリン症患者では薬物を慎重に使用しなければならない。